



学校だより

6月号

令和6年5月31日

ヒマワリの種子のしま模様は何のためにある

副校長 高野 智彦

暖かくなり、市民の森からたくさんの鳥や昆虫が、木の実や花の蜜を求めて二つ橋小学校にやってきます。この光景は、子どもたちとも重なるところがあります。朝、登校してきた子どもたちが真っ先に向かう場所は運動場のそばに置いてある植木鉢です。1年生はアサガオを、2年生は野菜を自分の植木鉢で育てています。「元気に育っているかな」と、水をあげながら見ている姿に心が温かくなります。

先日、生活科で2年生が野菜を観察している様子を見に行きました。「この前より大きくなって！」「たくさん実がついてる！」「葉っぱに生えている毛がチクチクする！」「こすると酸っぱい匂いがするよ！」と、「見て」「触って」「嗅いで」野菜の生長を感じていました。教科書やタブレットでは得られない、生きた教材を前に子どもたちは目を輝かせています。

3年生は、キャベツとヒマワリ、マリーゴールドを育てています。キャベツに集まるモンシロチョウの一生と、植物が種子から育っていく様子を観察しています。教室前の廊下に、ヒマワリの種子を観察したカードが掲示されていました。ある子のカードに「このくろいせんは、なんのためにあるんだろうとぎもんにおもいました。」と、書かれていました。確かに、植物の種子と言えば、黒色や白色などの単色が思い浮かびます。そして、ヒマワリのどこにも、しま模様はありません。今まで当たり前だと思っていて、気にも留めていませんでした。「目立たせることで、鳥や動物を見つけやすくなり、より遠くに種子を運んでもらうためではないか。」と自分なりに考え、インターネットでも調べてみましたが、明確な解答は見つかりませんでした。

子どもたちが日々の生活、学習の中からたくさんの「？」を見つけ、それを解決していける子どもたちを育てていきたいと思えます。



一昨年、職員室前で大きく咲いたヒマワリ。種子が規則正しく並んでいます。

～5月31日現在 各学年で育てている植物～

学年	育てている植物
1年生	アサガオ
2年生	夏野菜（エダマメ、オクラ、キュウリ、ナス、ピーマン、ミニトマト）
3年生	キャベツ、ヒマワリ、マリーゴールド
4年生	ツルレイシ、ヒョウタン
5年生	インゲンマメ
6年生	ジャガイモ
個別級	夏野菜（ジャガイモ、ナス、ピーマン、ミニトマト）

*2年生と個別級以外は観察・実験用に育てているので収穫は行いません。